

年度	学年	教科等	指導案URL	資質能力	児童・生徒の姿	指導の具体
R5	中3	保健教育	13_2_保健教育学習指導案(中学校).pdf	授業構想力	○今の自分の内面をふまえて自己理解を深めたり、行動変容の意欲を高めたりすることができた。	事前に行った自己肯定意識尺度の測定により集団の実態を把握し、授業の展開に反映させた。
R4	小1	保体	⑫小学校指導案(体育・保健体育科).pdf	授業実践力	○以前よりも、ボールを速く転がせるようになったことを実感できた。	ボールを速く転がすことが出来ている姿を全体で共有する時間を素早く設けた。
R4	小1	保体	⑫小学校指導案(体育・保健体育科).pdf	授業実践力	○児童が友達に対して、前向きな言葉かけをすることができるようになった。	ホワイトボードに児童が出した前向きな言葉かけを掲示したり、ゲームをしている児童に肯定的な声かけを行ったりした。
R6	中1	特別支援	13_3_特別支援教育学習指導案(中学校).pdf	授業実践力	○教師の言葉掛けを受けて、すべての作業を自分でやっしまおうとしていた生徒が、ペアの生徒に譲ったり順番を相談したりする。	生徒の良い姿を即時評価すると共に、適切でない姿については良い姿を引き出す言葉掛けをする。
R4	小5	算数	⑨小学校指導案(算数・数学科).pdf	授業分析・評価力	○友達の意見を聞いて納得する児童や理解が深まったと記述する児童が見られた。	一人一人の発言したことを価値付けたり、これまでの学習の中で評価したりすることで児童と教員の間で共通の理解が図られていると考える。
R4	小4	理科	⑫小学校指導案(理科).pdf	授業分析・評価力	○本時の目標を達成できた児童が27名、達成できなかった児童が3名であった。	授業前に想定した、評価規準を達成した具体的な児童の姿に基づき、児童に対する形成的評価を行う視点【評価】
R5	中1	理科	04_3_理科学習指導案(中学校).pdf	授業分析・評価力	○測定データをもとに、グラフに点を打ち、その結果の分析を通して、力の大きさとゴムの伸びの関係を導こうとしていた。	実験素材の特性から、既習事項のフックの法則に従う範囲と従わない範囲があることに気づかせた。
R6	小4	理科	04_1_理科学習指導案(小学校).pdf	授業分析・評価力	●雲の量や厚さ、日光のいずれかの視点から天気による気温変化の要因について説明できているが、それぞれの視点を関連づけることができていない児童が全体の46%見られた。	本時の評価規準は、先述した要因を関連づけて説明することを設定した。しかし、児童の発達段階を踏まえると、要因を見出すことまではできても、それらを関連づけることは難しかったのではないかと考える。
R4	小2	生活	⑭小学校指導案(生活科).pdf	授業分析・評価力	○「お試し遊び」後のワークシートには、「○○くんがアドバイスをくれたから、もっと楽しい遊びになりました。これからもっともっと楽しい遊びにしていきたいです。」や「みんなが楽しめるように、いろいろな工夫をしていきたいです。」や「1年2組さんと2年1組さんに楽しんでもらえるように、もっとレベルアップさせていきたい。」などのように、新たな気付きや思いをもつことができていた。	「お試し遊び」をした後は、ワークシートに気付きや思いを記述する時間を設けることで、児童の思いや願いをくみ取ることができた。単元計画を修正して、おもちゃを作製する時間を増やした。児童の気付きや思いをクラスみんなに広げた。
R5	小1	生活	05_生活科学習指導案.pdf	授業分析・評価力	○話し合いながら、「みんなでのしくしのめ小ツアー」で伝えたいことをまとめている姿が見られた。	「どうしてこれを伝えようとしたのですか。」「みんなが知って嬉しかったことは何ですか。」などの児童の思いを引き出す言葉が行った。